

(作成年月日) 2022年10月15日

(臨床研究に関する情報)

当施設では、下記の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体または通常の診療で得られる検査結果などの診療情報を用いて行います。この研究は、厚生労働省・文部科学省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」(令和3年3月23日制定、令和4年3月10日一部改正。)に従って実施しています。この研究に関するお問い合わせや、検体・診療情報をこの研究に利用することにご了承いただけない場合は、下記の連絡先・相談窓口へご照会ください。検体・診療情報の利用にご了承いただけなかった場合でも、それが理由で不利益を受けることはありません。

この研究は、香川大学医学部倫理委員会で承認されています。また、香川大学医学部長より実施の許可を受けています。

【研究課題名】 下顎智歯抜歯後感染発症のリスク因子の検討

[研究の目的]

下顎智歯(親知らず)の抜歯を行なった後の合併症として抜歯後感染があります。本研究では抜歯後感染発症のリスク因子について検討します。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

2015年4月1日から2022年6月30日の間に、歯・顎・口腔外科にて下顎智歯抜歯を受けられた方。

○利用する検体・診療情報

検体：なし

診療情報：パノラマX線写真を用いて抜歯を行なった智歯の歯根の本数、含菌性嚢胞の有無、歯根嚢胞の有無、根管治療の有無、下顎9の存在の有無、Winter分類、Position分類、Class分類、第二大臼歯の有無、第二大臼歯のカリエスの有無、第二大臼歯の根管治療の有無、第二大臼歯の修復処置の有無、第二大臼歯遠心の骨欠損の有無、第二大臼歯の埋伏の有無、骨髓炎様の所見(不透過性の亢進など)の有無、下歯槽神経白線の中絶の有無、その他異常所見を調査する。歯科用コーンビームCT(以下CBCT)については、CBCTの撮影の有無、CBCT撮影を行っていた場合は歯根の本数についてもパノラマX線と併せて評価する。

下顎智歯抜歯を行った時点での患者背景(年齢、性別、身長、体重、BMI、既往歴、内服薬、喫煙歴、飲酒歴)、抜歯時の環境(外来、入院のいずれかか、左右どちらの抜歯を行なったか、左右智歯、上下智歯を同時に抜歯したか、抜歯時の歯肉の炎症の有無、術者の口腔外科専門医資格の有無、術後の止血剤投与の有無)、抜歯後感染の有無、抜歯後感染までの日数を調査する。また周術期の血圧について記録する。

[研究組織]

香川大学医学部附属病院 歯・顎・口腔外科 助教 宮寄 亮

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[連絡先・相談窓口]

香川県木田郡三木町池戸 1750-1

香川大学医学部附属病院 歯・顎・口腔外科

電話 087-819-2227 FAX 087-891-2228

担当医師 宮寄 亮